

ITの専門技術や独創的な
アイデアを持つ「高度人材」
を生かし地域課題の解決を
目指す取り組みが、長岡市
で始まった。経済産業省のI
Tプログラムの一環で、来年
1月まで実施する。参加

する長岡技術科学大学の学
生ら5人が大手通2のナデ
ックベースで初会合を開
き、伝統技能の保存の可
能性などについて発表し
た。経済産業省のI
T活用促進調査地域とし
て札幌市と共に選ばれた。
高度人材が地場の企業な
どを回って課題を掘り起
こし、技術やアイデアを
組み合わせて解決策を探

た。

市は本年度、経産省のI
T活用促進調査地域とし
て札幌市と共に選ばれた。
高度人材が地場の企業な
どを回って課題を掘り起
こし、技術やアイデアを
組み合わせて解決策を探

IT活用 地域課題解決へ

「高度人材」取り組み始まる

伝統技能の保存 繙承探る



ITを活用し地域課題の解決を図るプログラムの初会合
=長岡市大手通2

プログラムには長岡技科
大の2人と、首都圏の企業
の3人が参加。13、14の両
日に市内3社と1団体を調
査し、寺泊の曲げ物や、柄
尾の手まり作りで扱い手が
不足していることに着目し
た。

メンバーは、技能者が作
業する内容を映像と音声で
記録できる機器や、人工知
能（AI）で動画を内容
別に区分する技術などを
それぞれ持ち、伝統技能の
保存と継承につなげられ
ないか模索していく考
えだ。

15日の会合で長岡技科
大の片岡翔太郎さん（22）は
「後継者不足など緊急性が
高く、技術が必要とされる
分野で貢献したい」と語っ
た。経産省の担当者は「中
小企業が集まり、人材や情
報網も豊富な長岡での取